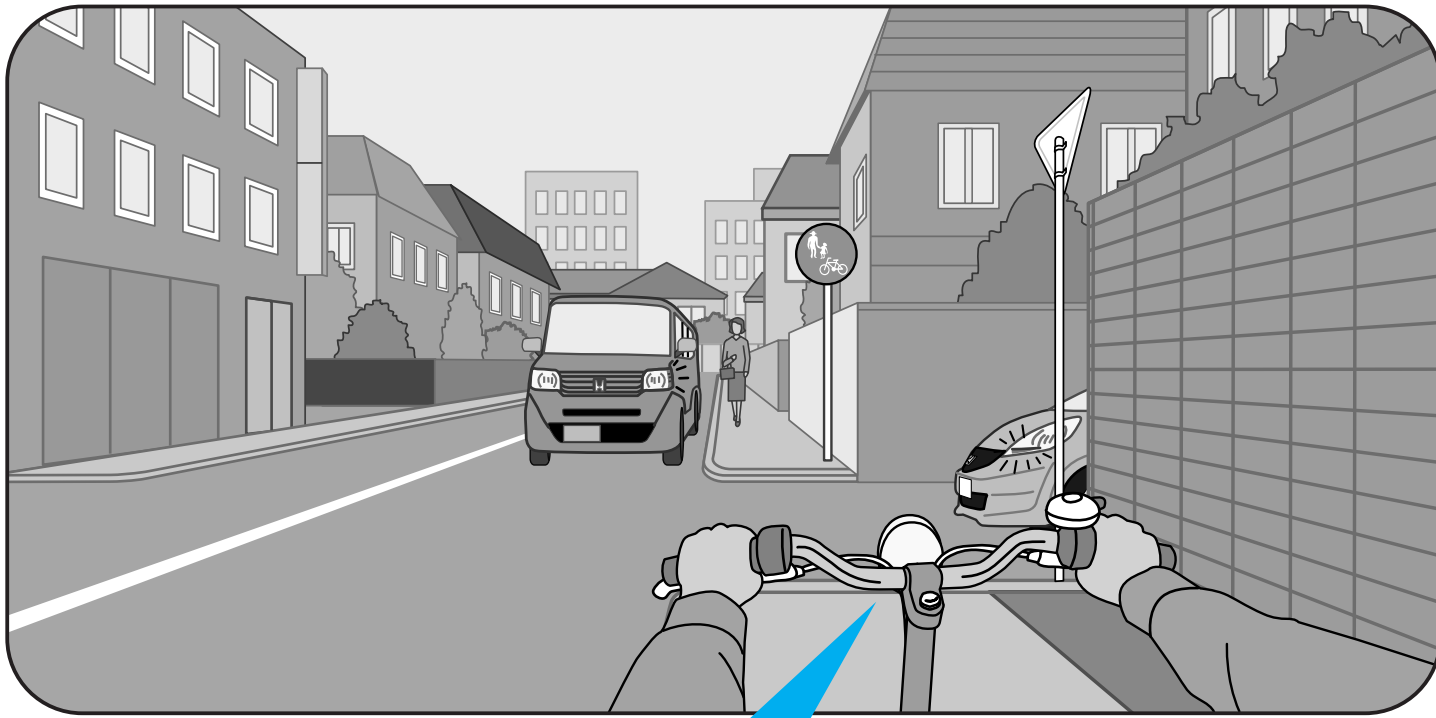


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第31回 路地からクルマが出てきた時 (自転車)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は自転車利用者に、信号機のない交差点を通過する時の危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくりまします。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは自転車通行可の歩道を走っています。対向しているクルマは左折のウィンカーを出して停止し、右側の路地からはクルマが出てきています。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

©本田技研工業(株)

指導者ファイル 12

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



交通安全協会大分支部・女性交通指導員の皆さん
写真左から橋本紫乃さん、今永佳央里さん、衛藤美紀さん、合沢琴美さん

“知っている”交通ルールを正しく“理解してもらう”

大分市は大分県の県庁所在地で、約48万人が暮らす都市である。約501平方kmと広い面積を有す同市では、中央、南、東地区の3つのエリアに区分し、きめ細かい交通安全教育を行っている。その東地区で交通指導にあたっているのが4名の女性交通指導員の皆さんである。

大分東地区の交通事故件数は、同地区の運転免許人口(平成14～23年)が約28%増加するなか、平成14年の685件から平成23年は575件と、この10年間で16%減少している。交通安全協会大分支部の太郎良力事務局長はその理由を「地道な交通安全教育の成果」と語る。

「東支部の交通指導員の働きはもちろん、昨年は女性ドライバー協議会による戸別訪問も行いました。高齢者の事故防止に向けて、集会所等での交通安全教育を受講できない方に配慮した取り組みです」。

東地区では幼児や小学生、その保護者を中心に、平成23年度は91回、延べ7801

人に対し、交通安全教室を開催。子どもを対象とした交通安全教室でいちばん大切にしていることは「交通ルールを教えるのではなく、理解してもらう」ことだという。

「私たちは“右左右”を見たあとに“後ろ”も見ようね、と教えています。どうして最後に後ろを見る必要があるのか。自分の後ろから接近するクルマにも注意が必要であることを口で伝えてもなかなか理解できません。体験を通して実感してもらうことを何より大切にしています」(交通指導員・橋本さん)。

そのため、手づくりの教材で交通ルールの“なぜ”を分かりやすく説明し、アニメーションビデオの上映や実際の道路に出て横断歩道を渡る実施体験、交差点を用意して模擬横断歩道を渡る体験など、様々な要

望に合わせて行っている。その際には、手づくりのクルマの模型を交差点付近に移動してみせ、実際の交通場面に近い状況をつくり出しているという。

また何度も訪れる幼稚園等では毎回少しずつ内容を変更し、同じことの繰り返しではなく理解を深めていく工夫を凝らしている。この地道な取り組みが事故削減に繋



★交通ルールを楽しく学んでもらうキャラクターとの対話劇

東支部のオリジナルキャラクターである「パンちゃん」と「くま吉くん」がお姉さんとお話しながら交通ルールを学んでいく寸劇。キャラクターが話す間違えた交通安全の知識をお姉さんが子どもたちと一緒に正していく。定期開催の教室では子どもたちのレベルに合わせて台本を変更している

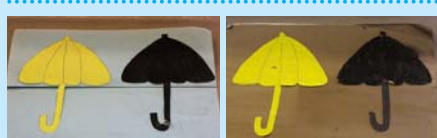


★道路の右側を歩くことの意味を伝える教材

「クルマの運転手さんと目が合ってるかな？」と子どもたちに問いかけながら、道路の右側と左側を歩いている絵を交互に見せる。「歩いているボクから見るとは運転手さんからも見えやすい」ことを実感してもらったうえで「運転手さんと目が合う右側を歩きましょう」と呼びかける



★昼と夜の見え方の違いを理解してもらう教材



黄色と黒の傘が背景の色の違い(昼と夜)でどっかが見やすいかを比べてもらい、明るい色を身につけることの大切さを実感してもらう。絵本構造で、上下にページをめくると背景の色が変わるようになっている

SJクイズ ?

Q1 平成23年の自転車乗用中の交通事故死者数を年齢層別にみると、最も多いのは高齢者(65歳以上)ですが、その構成率は次のうちどれでしょう?
①約45% ②約50%
③約55% ④約60%

Q2 自転車対歩行者の死傷事故(平成14～23年)に關与した自転車利用者(第1当事者※)を年齢層別にみると、最も多い年齢層は次のうちどれでしょう?
※第1当事者＝交通事故の当事者のうち過失が最も重い者、又は過失が同程度の場合は被害が最も軽い者
①13～15歳 ②16～18歳
③19～24歳 ④25～29歳



Q3 自転車対歩行者の道路別行動別死傷事故件数(平成19～23年)の中で、最も多い事故形態は次のうちどれでしょう?
①歩道を通行中
②非分離(歩車区分なし)道路を通行中
③横断歩道外横断中
④横断歩道横断中の自転車交差

※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/

©本田技研工業(株)